

「景気動向に関するアンケート調査」報告書

令和 7 年 5 月

【調査趣旨】

神栖市商工会会員事業所の現状把握および今後の支援策について検討することを目的とする。

【調査概要】

調査時期:2025 年 1 月～3 月

調査対象:商工会会員事業所等

調査方法:窓口

回 答 数:84 件

【今回調査の業種別 DI】(令和 7 年 1～3 月を令和 6 年 10～12 月と比較)

<R7.1-3月>						単位:%
項目\業種	全業種	製造業	小売業	建設業	卸売業	サービス業
3. 景況感	△ 16.7	0.0	△ 35.3	△ 14.6	50.0	△ 12.5
4. 売 上	△ 22.6	0.0	△ 52.9	△ 18.8	50.0	△ 12.5
5. 仕入(原材料)価格	63.1	100.0	70.6	58.3	100.0	62.5
6. 利 益	△ 25.0	0.0	△ 76.5	△ 20.8	100.0	0.0
7. 資金繰り	△ 23.9	0.0	△ 58.8	△ 16.7	0.0	△ 12.5
8. 3ヶ月先の見通し	△ 16.7	100.0	△ 76.5	△ 4.2	△ 50.0	6.3

<DIとは?>

DIとは、「良い」と回答した企業の割合 - 「悪い」と回答した企業の割合を算出したもので、算出した DI の数値は大きい(プラスになる)ほど景気が良くなっていると判断されます。(※仕入価格以外)

※仕入価格の DI 値は、マイナスとなる事が理想だが、プラスになっていても価格転嫁が適正に行われ、利益が増加していれば問題ないと考えられます。

【例】

売上 DI の算出方法:集計結果 ①上昇した 16.9% ②変化なし 45. 8% ③減少した 37.3% ⇒
① - ③(16.9-37.3)=△20.4 となります。

仕入 DI の算出方法:集計結果 ①上昇した 71.1% ②変化なし 25.3% ③減少した 3.6% ⇒
① - ③(71.1-3.6)=67.5 となります。

【アンケート結果(全業種)の概要】 ※前ページの集計に対するコメント

<景況感> 前回の統計(次ページ「前回調査からの推移」参照)より 6.7 ポイント増と景気を持ち直しを感じた。また、卸売業で 83.3 ポイント増となったが、小売業で 10.3 ポイント減と最も大きく業種間で大きな差が表れている。

<売上> 卸売業で 116.7 ポイント増と全業種の中で増加割合が最も多くなっている中で、小売業△52.9 ポイントは前回より 37.9 ポイント減となった。

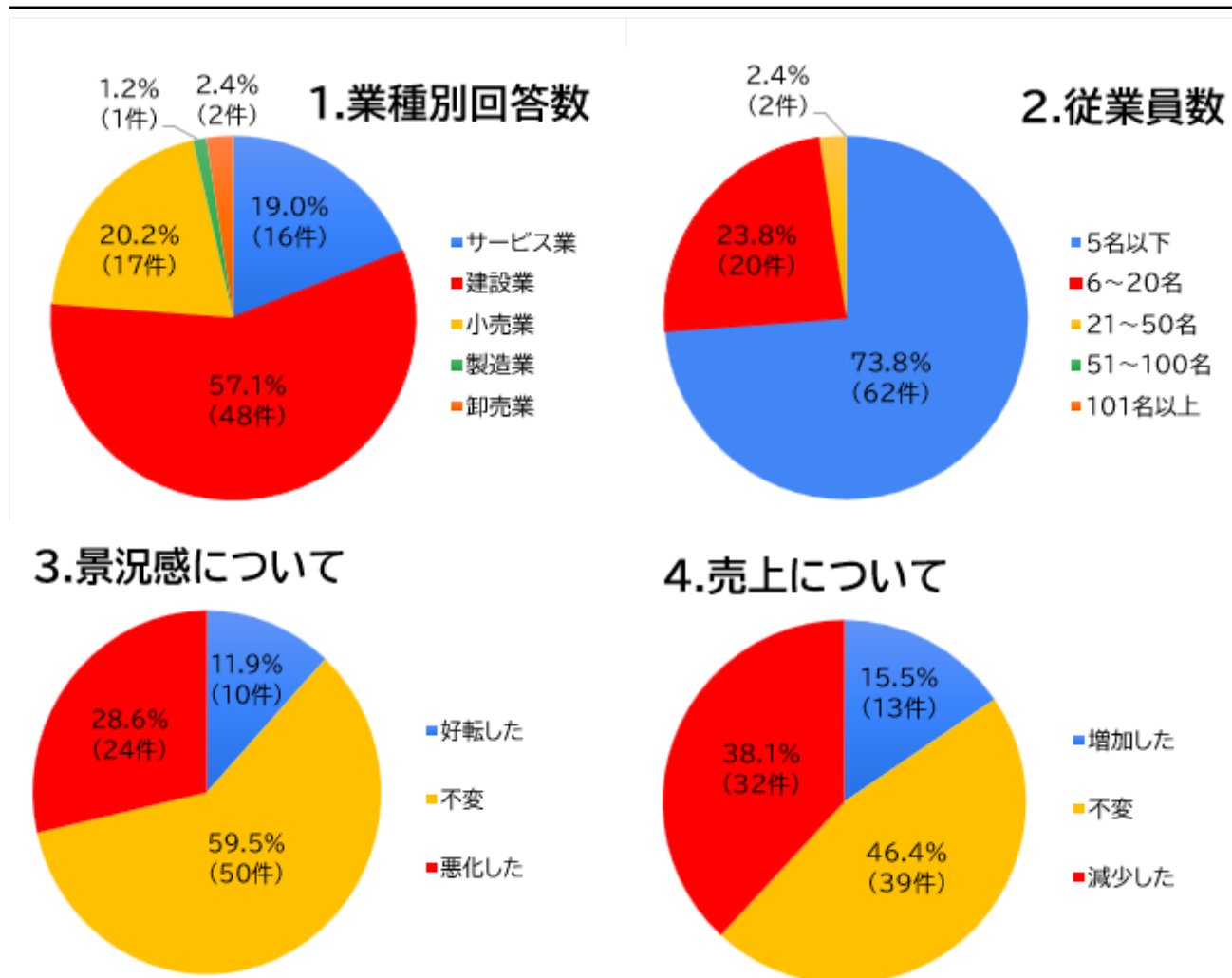
<仕入(原材料)価格> 全業種で軒並み高い数値となっており、依然、仕入・原材料価格の高騰が収まらず、多くの事業所の経営に影響を及ぼしている。

<利益> 卸売業で前回の統計から 100.0 ポイント改善がみられたものの、仕入・原材料価格の高騰の影響から小売業で利益が 51.5 ポイント減少している。

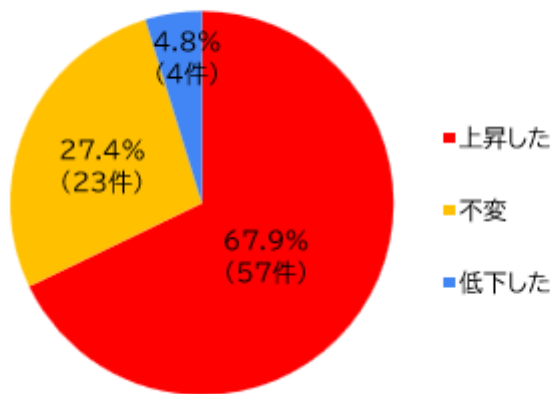
<資金繰り> サービス業では前回よりも 17.5 ポイント改善したが、製造業では「悪化する」が「好転する」を 50.0 ポイント上回り、厳しい状況が予想される。

<3ヶ月後の見通し> 製造業では前回の調査よりも 100.0 ポイント改善したが、小売業では「悪化する」が「好転する」を 61.5 ポイント上回り、厳しい状況が予想される。

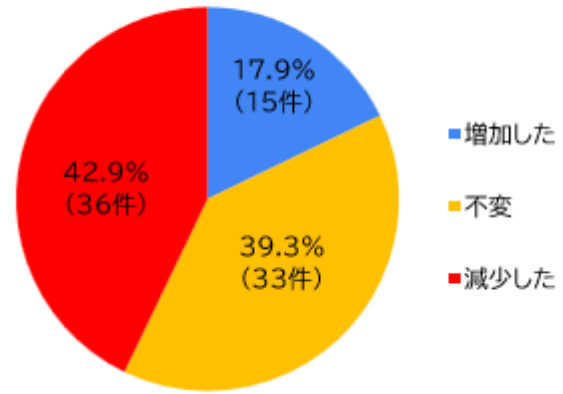
【アンケート結果(全業種)の詳細】



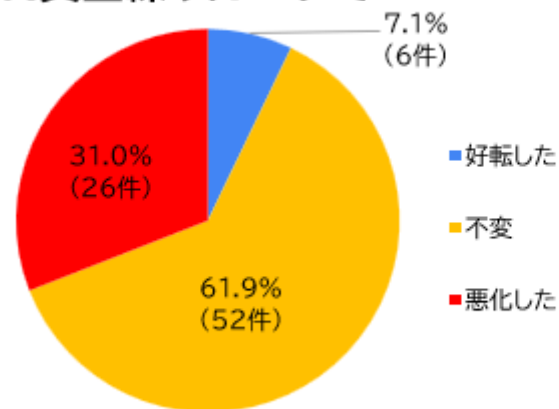
5.仕入価格について



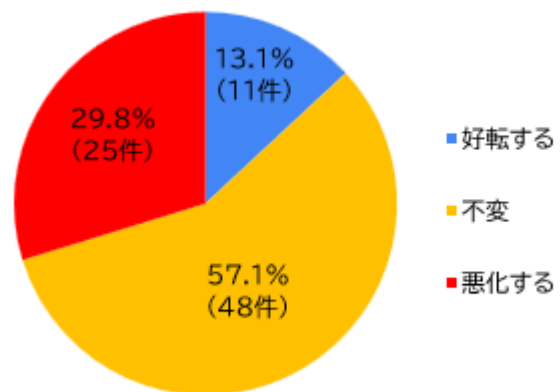
6.利益について



7.資金繰りについて



8.業況の見通しについて

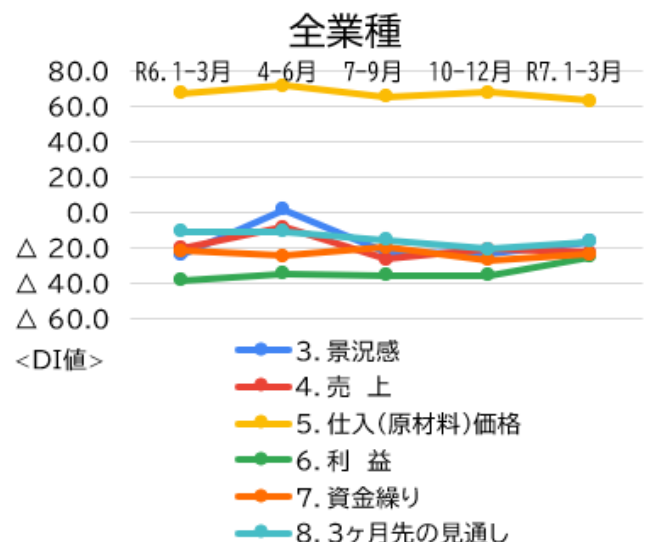


【前回調査からの推移】

[全体の概要]

項目\業種・期間	全業種				
	R6.1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R7.1-3月
3.景況感	△24.0	1.3	△22.2	△23.4	△16.7
4.売上	△20.4	△8.7	△26.6	△21.0	△22.6
5.仕入(原材料)価格	67.5	71.6	65.6	67.9	63.1
6.利益	△39	△34.5	△35.6	△35.8	△25.0
7.資金繰り	△22	△24.7	△20.0	△27.2	△23.9
8.3ヶ月先の見通し	△11	△10.8	△15.6	△21.0	△16.7

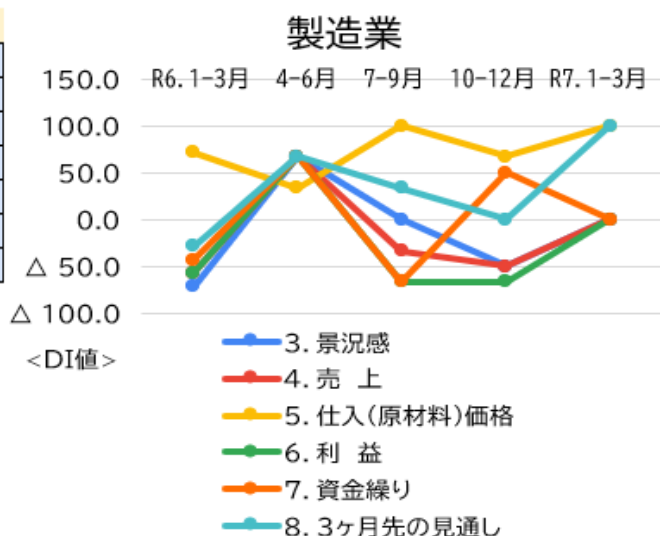
前回の結果と比べ全体的に動きは小さいが、売上は 1.6 ポイント減となっているものの、利益については 10.8 ポイント、景況感は 6.7 ポイント増となっており、前回調査時よりも好転している。



[製造業の概要]

項目\業種・期間	製造業				
	R6.1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R7.1-3月
3. 景況感	△ 71.4	66.7	0.0	△ 50.0	0.0
4. 売 上	△ 57.1	66.7	△ 33.3	△ 50.0	0.0
5. 仕入(原材料)価格	71.4	33.3	100.0	66.7	100.0
6. 利 益	△ 57.1	66.7	△ 66.7	△ 66.7	0.0
7. 資金繰り	△ 42.9	66.7	△ 66.7	50.0	0.0
8. 3ヶ月先の見通し	△ 28.6	66.7	33.3	0.0	100.0

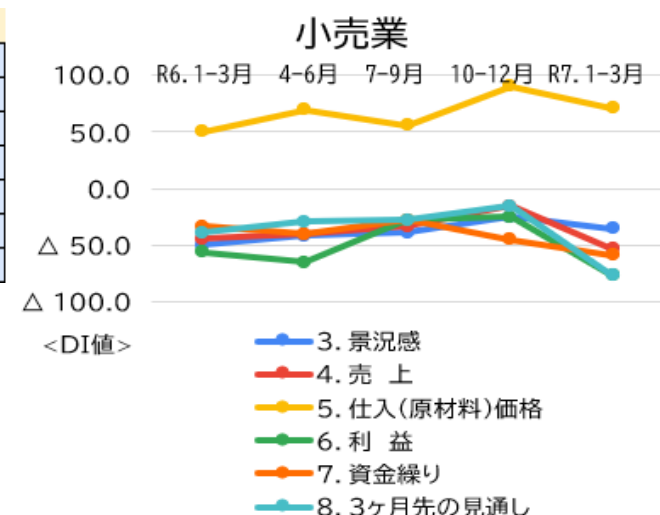
製造業では売上については 50.0 ポイント増、利益は 66.7 ポイント増となっているが、資金繰りに関しては 50.0 ポイント減、仕入価格が前回より 33.3 ポイント悪化となっており、厳しい状況が予想される。



[小売業の概要]

項目\業種・期間	小売業				
	R6.1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R7.1-3月
3. 景況感	△ 50.0	△ 41.6	△ 38.9	△ 25.0	△ 35.3
4. 売 上	△ 44.4	△ 40.0	△ 33.3	△ 15.0	△ 52.9
5. 仕入(原材料)価格	50.0	69.2	55.6	90.0	70.6
6. 利 益	△ 55.6	△ 64.6	△ 27.8	△ 25.0	△ 76.5
7. 資金繰り	△ 33.3	△ 40.0	△ 27.8	△ 45.0	△ 58.8
8. 3ヶ月先の見通し	△ 38.9	△ 29.2	△ 27.8	△ 15.0	△ 76.5

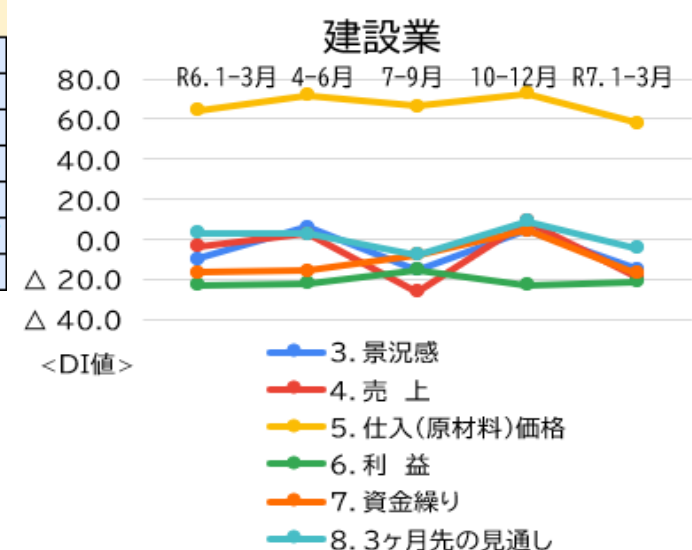
小売業では仕入価格が前回より 19.4 ポイント改善となっているが、売上で 37.9 ポイント減、利益は 51.5 ポイント減となっており、厳しい状況が予想される。



[建設業の概要]

項目\業種・期間	建設業				
	R6.1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R7.1-3月
3. 景況感	△ 9.7	6.3	△ 14.8	4.5	△ 14.6
4. 売 上	△ 3.2	3.1	△ 25.9	9.1	△ 18.8
5. 仕入(原材料)価格	64.5	71.9	66.7	72.7	58.3
6. 利 益	△ 22.6	△ 21.9	△ 14.8	△ 22.7	△ 20.8
7. 資金繰り	△ 16.1	△ 15.6	△ 7.4	4.5	△ 16.7
8. 3ヶ月先の見通し	3.2	3.1	△ 7.4	9.1	△ 4.2

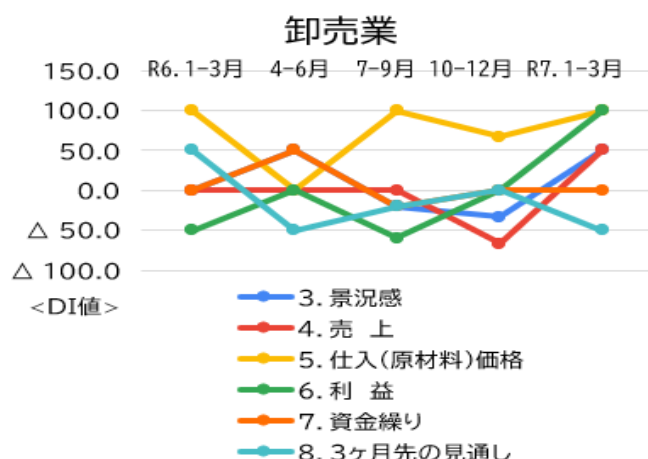
建設業では仕入価格が 14.4 ポイント改善になっているものの、売上で 27.9 ポイント減、資金繰りで 21.2 ポイント減となっており、厳しい状況が予想される。



【卸売業の概要】

項目\業種・期間	卸売業				
	R6.1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R7.1-3月
3.景況感	0.0	50.0	△ 20.0	△ 33.3	50.0
4.売 上	0.0	0.0	0.0	△ 66.7	50.0
5.仕入(原材料)価格	100.0	0.0	100.0	66.7	100.0
6.利 益	△ 50.0	0.0	△ 60.0	0.0	100.0
7.資金繰り	0.0	50.0	△ 20.0	0.0	0.0
8.3ヶ月先の見通し	50.0	△ 50.0	△ 20.0	0.0	△ 50.0

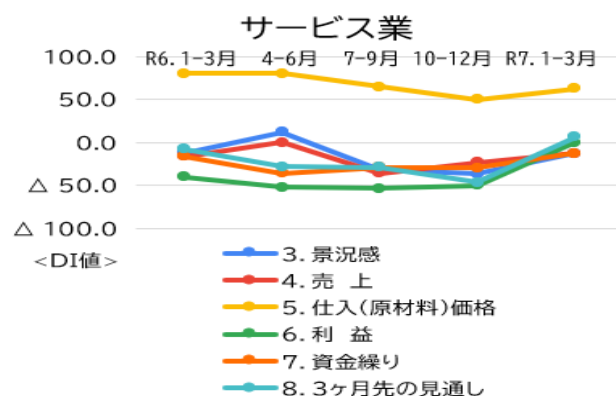
卸売業では仕入価格で 33.3 ポイント悪化となっているものの、売上が 116.7 ポイント増、利益で 100.0 ポイント増となっており、前回調査時よりも好転している。



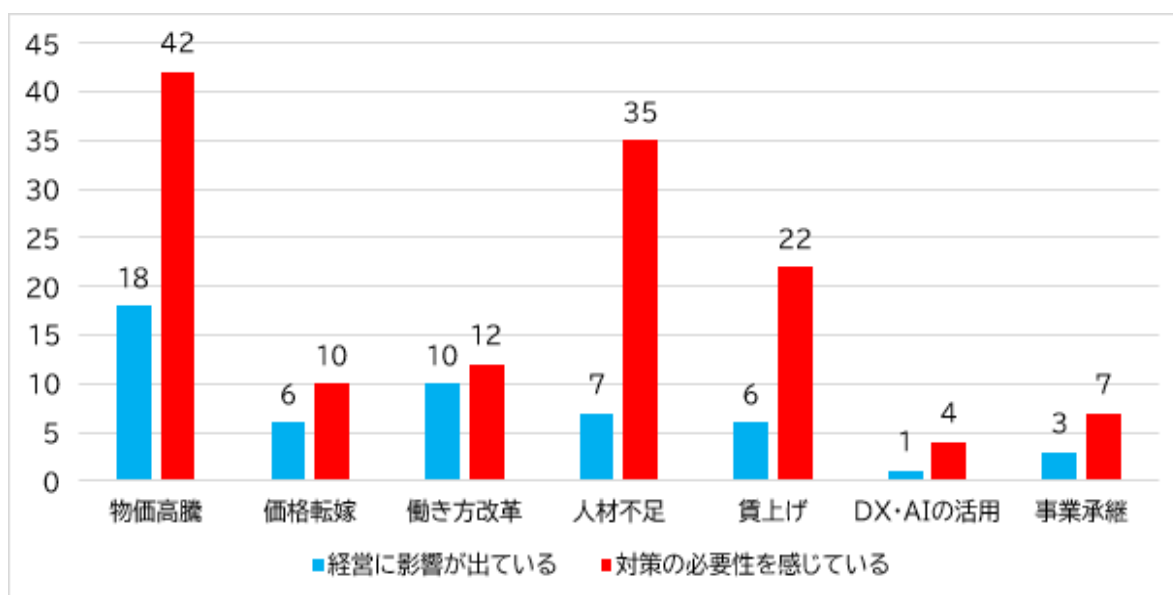
【サービス業の概要】

項目\業種・期間	サービス業				
	R6.1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	R7.1-3月
3.景況感	△ 12.0	12.0	△ 32.1	△ 36.7	△ 12.5
4.売 上	△ 16.0	0.0	△ 35.7	△ 23.3	△ 12.5
5.仕入(原材料)価格	80.0	80.0	64.3	50.0	62.5
6.利 益	△ 40.0	△ 52.0	△ 53.6	△ 50.0	0.0
7.資金繰り	△ 16.0	△ 36.0	△ 28.6	△ 30.0	△ 12.5
8.3ヶ月先の見通し	△ 8.0	△ 28.0	△ 28.6	△ 46.7	6.3

サービス業では仕入価格が、前回より 12.5 ポイント悪化となっているが、売上が 10.8 ポイント増、利益が 50.0 ポイント増となっており、前回調査時よりも好転している。



【経営への影響や対策の必要性について】



上記の結果から、多くの事業所にとって物価高騰は最も大きな課題であることがうかがえる。課題を解決するために、コスト削減や価格転嫁などの対策を講じる必要があるが、人材確保や資金繰りにおいても、小規模事業者にとっても非常に難しい課題となっている。

また、働き方改革においては、収入減や生産性の低下などの問題が考えられ、また、賃上げにおいては、資金面の課題などが考えられる。

その他、経営に影響を及ぼしている要因や、お気づきの点やご意見ご要望について

- ・働き方改革で休日多くなり 売り上げが少なくなったので金額を高く元請から頂きたいと思うのはムリか？元請さん労・健保が高い
- ・工期がかさなり5～7月は大変になる 工期がのび4月工事が→5月になり、4月工事が減少
- ・年度切替による受注の減少
- ・物価高騰になり、美容にお金をかける人かける金額が減っている。美容＝健康という存在意義を示していきたい。

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

景気動向に関するアンケート調査結果(2025年5月)

実施・編集 神栖市商工会

お問合せ Tel0299-92-5111